

## 2024 年は教育学部創設 75 周年

教育学部同窓会会長 野島一彦

2024 年 11 月 16 日に「九州大学法文学部創立 100 周年記念式典」が椎木講堂で行われ、そのなかで文学部、教育学部、法学部、経済学部の同窓会代表の祝辞が述べられました。

私は祝辞の中で、2024 年は教育学部創設 75 周年にあたることから、教育学部について以下のようなことを述べました。

教育学部は、1925（大正 14）年に「法文学部教育学講座」を前身として 1949（昭和 24）年に創設され、本年度で 75 周年を迎えました。

本学部の特徴は、「教員養成課程ではない」教育学部であります。その根幹は、第二次世界大戦の反省に立ち、「戦後民主主義」に基づく社会を構築するという使命のもとに、人間に対する深い洞察と共感的態度を基盤に持ちながら、人間と人間のふれあう社会のさまざまな領域において創造的に問題解決ができる人材を養成することを目的としています。その教育は、人間の発達と形成を軸とする幅広い総合人間科学としての「教育学」・「心理学」に関する理論的並びに実践的な基礎教育と専門教育を行ってきています。

そして「教育学」と「心理学」を両輪とした教育を通じて、大学・研究機関で従事する研究者、官公庁、民間企業で働く高度専門職業人、学校教育現場で活躍する教育者など、教育と心理に関わる多彩な人物を輩出してきています。

本学部は創設当初から少人数教育を重視してきており、学生定員は、当初は 25 名、現在は 46 名で、これまでに、2800 名余の卒業生を輩出してきております。その少人数教育の中で徹底した指導を受け、高度な専門知識を修得した卒業生は各界でその存在感を示しております。

75 周年を迎え 100 周年に向かっていく教育学部は、今日の刻々と変化する社会状況、国際社会や地球全体に目を向け、個人と文化の多様性と普遍性とを踏まえ、「学術」と「実践」の両面において教育・心理諸科学の発展に寄与することのできる学部であってほしいと願います。そうなることが、貧困、差別、不公正、分断といったような、「教育」や「こころ」に直結する社会的問題を解決し、苦しむ人々・悩む人々の助けに繋がることと考えております。

今後ますますの教育学部の充実発展を期待します。